



つくば市記者会 御中

つくば市政策イノベーション部情報政策課

つくば公共サービス共創事業 ～つくばイノベーションスイッチ～が始まります

項目(あてはまるものすべてにチェック)

イベント・会議等の事前周知依頼

イベント・会議等の取材依頼

イベント・会議以外の事業の周知依頼

参加者募集の周知依頼

その他()

全2枚(本紙含む)

●概要

すでに民間では導入が進んでいる先端ICT技術を、行政の実際のフィードに導入することで、「市民サービスの向上及び行政課題の解決等に資する新しい製品やサービスの創出」に結びつけるための共同研究を実施します。

本事業を共同で研究する共同研究者(民間事業者、大学等学術研究機関)を公募します。

●第1回公募案件：RPAを活用した定型的で膨大な業務プロセスの自動化

【現状及び問題点】 市役所業務には、単純で定型的な作業ではあるが、量が非常に多いため、多くの時間を費やしているものがあり、その結果、時間外勤務が多く発生している。

【解決を考えている課題】 (1)作業時間の短縮(効率化)

(2)ミスが少ない正確で的確な処理

【公募期間】 平成29年10月31日まで

【HP】 <http://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/14216/14656/021556.html>

● RPA (Robotic Process Automation)とは

これまで人間のみが対応可能と想定されていた作業、もしくはより高度な作業を人間に代わって実施できるルールエンジンやAI、機械学習等を含む認知技術を活用した業務を代行・代替するもの(日本RPA協会)

(補足)事業の概要 ※別紙フロー図参照

・共同研究者は、選定会議により選定します。

・共同研究の経費は、市が市職員の事務費(人件費及び消耗品費、旅費等)を、共同研究者は技術・ノウハウの実証に必要な経費等を負担します。

・共同研究による成果を市が本格的に導入する場合は、通常の入札等の方法によります。

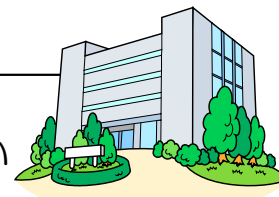
つくば市

- どこに相談すれば・・・
- 費用や効果が分からない
- 日常の業務で一杯 等々



民間事業者等

- ビジネスにつながるか未知数
- 言葉だけでは理解してもらえない
- 効果を試したい 等々



解決したい
行政課題の設定

公募

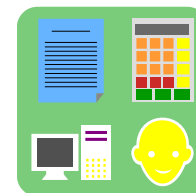
提案

選定会議

ヒアリング



民間等では既に実用化されているが、行政分野では活用されていない技術やサービスなど



行政実務に関する知識・経験
行政フィールドの提供

共同研究契約

民間事業者等の技術，創意工夫
ICT技術，サービスの研究

経費負担：職員の人件費，消耗品費，旅費等

共同研究実施

経費負担：技術・ノウハウの実証に必要な経費等

実績報告・公表

研究成果の利活用

